

授業概要

本授業では、前半（第 2～10 回）を主に生徒指導について、後半（第 11～14 回）を進路指導・キャリア教育について講義する。生徒指導の内容では、第 2～6 回の授業では、生徒指導の理論と方法についての基礎的な理解を深める。その上で、第 7～10 回で、個別の課題を抱える生徒への指導方法について考察するために、具体的な事例を検討していく。進路指導・キャリア教育の内容では、第 11・12 回の授業で、その理論と方法についての基礎的な理解を深める。その上で、第 13・14 回で、現代の進路指導・キャリア教育の課題について考察を深めていく。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：現代の学校における生徒指導・進路指導
第 2 回	生徒指導の意義と教育課程上の位置
第 3 回	生徒指導の方法：集団指導・個別指導
第 4 回	生徒理解と教育相談
第 5 回	生徒指導の限界（1）：校則は必要なのか？
第 6 回	生徒指導の限界（2）：懲戒としての体罰は許されるのか？
第 7 回	現代の教育課題：いじめ
第 8 回	現代の教育課題：不登校
第 9 回	現代の教育課題：子どもの貧困、ヤングケアラー
第 10 回	現代の教育課題：非行少年
第 11 回	進路指導の意義と教育課程上の位置
第 12 回	キャリア教育の意義とその在り方
第 13 回	現代の教育課題：学校からのドロップアウト
第 14 回	現代の教育課題：進路選択・職業選択への対応
第 15 回	生徒指導、進路指導・キャリア教育の現状と今後
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・生徒指導及び進路指導についての意義や指導上の課題について理解できる。
- ・現代の学校教育が抱えている諸問題についての理解を深めることができる。
- ・他の教員や関係機関と連携しながら組織的に指導をすすめていくために必要な知識を身に付けることができる。

履修上の注意

第 1 回のガイダンス授業の際に、授業方法・評価方法・予習・復習について詳細に説明する。成績評価に関わる内容であるため必ず出席すること。なお、第 1 回目授業に出席できない特別な理由がある場合（あった場合）には申し出て、配布資料を必ず受け取ること。

予習復習

予習：授業の最後に次回の授業資料を配付するので、その内容について読んでおくこと。

復習：毎回の授業で出された課題を確認し、理解できていない場合は授業資料を復習し、さらに学びたい内容があれば授業資料に示した参考文献を読むこと。

評価方法

授業参画度（授業態度・授業中の発言等）＝10%、授業での提出物の内容＝30%、学期末のテスト＝60%。履修者の状況によっては、中間テストを行う場合がある。なお、教職に関する科目のため、成績評価は厳しい態度で行う。評価方法の詳細は、第 1 回のガイダンス授業で説明する。

テキスト

毎回、授業資料を配付する。授業内容についての参考文献は、授業資料で示すので、それを参考にしてもらいたい。

授業概要

本授業では、前半（第 2～10 回）を主に生徒指導について、後半（第 11～14 回）を進路指導・キャリア教育について講義する。生徒指導の内容では、第 2～6 回の授業では、生徒指導の理論と方法についての基礎的な理解を深める。その上で、第 7～10 回で、個別の課題を抱える生徒への指導方法について考察するために、具体的な事例を検討していく。進路指導・キャリア教育の内容では、第 11・12 回の授業で、その理論と方法についての基礎的な理解を深める。その上で、第 13・14 回で、現代の進路指導・キャリア教育の課題について考察を深めていく。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：現代の学校における生徒指導・進路指導
第 2 回	生徒指導の意義と教育課程上の位置
第 3 回	生徒指導の方法：集団指導・個別指導
第 4 回	生徒理解と教育相談
第 5 回	生徒指導の限界（1）：校則は必要なのか？
第 6 回	生徒指導の限界（2）：懲戒としての体罰は許されるのか？
第 7 回	現代の教育課題：いじめ
第 8 回	現代の教育課題：不登校
第 9 回	現代の教育課題：子どもの貧困、ヤングケアラー
第 10 回	現代の教育課題：非行少年
第 11 回	進路指導の意義と教育課程上の位置
第 12 回	キャリア教育の意義とその在り方
第 13 回	現代の教育課題：学校からのドロップアウト
第 14 回	現代の教育課題：進路選択・職業選択への対応
第 15 回	生徒指導、進路指導・キャリア教育の現状と今後
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・生徒指導及び進路指導についての意義や指導上の課題について理解できる。
- ・現代の学校教育が抱えている諸問題についての理解を深めることができる。
- ・他の教員や関係機関と連携しながら組織的に指導をすすめていくために必要な知識を身に付けることができる。

履修上の注意

第 1 回のガイダンス授業の際に、授業方法・評価方法・予習・復習について詳細に説明する。成績評価に関わる内容であるため必ず出席すること。なお、第 1 回目授業に出席できない特別な理由がある場合（あった場合）には申し出て、配布資料を必ず受け取ること。

予習復習

予習：授業の最後に次回の授業資料を配付するので、その内容について読んでおくこと。

復習：毎回の授業で出された課題を確認し、理解できていない場合は授業資料を復習し、さらに学びたい内容があれば授業資料に示した参考文献を読むこと。

評価方法

授業参画度（授業態度・授業中の発言等）＝10%、授業での提出物の内容＝30%、学期末のテスト＝60%。履修者の状況によっては、中間テストを行う場合がある。なお、教職に関する科目のため、成績評価は厳しい態度で行う。評価方法の詳細は、第 1 回のガイダンス授業で説明する。

テキスト

毎回、授業資料を配付する。授業内容についての参考文献は、授業資料で示すので、それを参考にしてもらいたい。